

一、傍線部を口語訳せよ。

1 さて冬枯れのけしきこそ、秋にはをさをさ劣るまじけれ。 (徒然草)

2 「童(わらは)よりほかには、すべて入(い)るまじ」と戸を押さへて、 (枕草子)

3 この玉たはやすくえ取らじを、いはむや龍(たつ)の首(くび)の玉はいかが取らむ。 (竹取物語)

[ ] [ ] [ ]

二、次の助動詞の活用表を完成させ、それぞれ活用語の何形に接続するかも答えよ。

1

|     |     |     |     |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 基本形 | 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 已然形 | 命令形 | 接続 |
| じ   | ○   | ○   |     |     |     | ○   |    |

|     |     |     |     |     |     |     |    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 基本形 | 未然形 | 連用形 | 終止形 | 連体形 | 已然形 | 命令形 | 接続 |
| まじ  | ( ) | ( ) |     |     |     | ○   |    |

三、傍線部の助動詞の意味を答えよ。

1 勝つべきいくさに負けることはよもあらじ。 (平家物語)

2 「おそく来る奴(やつ)ばらを待たじ。」とのたまひて、 (竹取物語)

[ ] [ ] [ ] [ ]

四、傍線部の助動詞の活用形を答えよ。

1 この御ためには、上が上を選(え)り出(い)でも、なほ飽くまじく見え給(たま)ふ。 (源氏物語)

2 心ばせあるさまなどぞ、げにやむごとなき人に劣るまじかりける。 (源氏物語)

[ ] [ ] [ ] [ ]

五、空欄に助動詞「まじ」を活用させて入れよ。

1 なかにもある( )む振舞(ふるまひ)は、よくよく慎むべし。 (十訓抄)

[ ] [ ]

六、傍線部の助動詞の意味を次のア～オから選べ。

ア、打消推量 イ、打消意志 ウ、打消当然 エ、不適當・禁止 オ、不可能

1 たはやすく人寄り来(く)まじき家をつくりて、 (竹取物語)

[ ] [ ]

3 2 1 一  
 劣らないだろう  
 だれも入ってはならない  
 取ることができないだろうに

1 二

|     |     |
|-----|-----|
| じ   | 基本形 |
| ○   | 未然形 |
| ○   | 連用形 |
| じ   | 終止形 |
| じ   | 連体形 |
| じ   | 已然形 |
| ○   | 命令形 |
| 未然形 | 接続  |

|                   |     |
|-------------------|-----|
| まじ                | 基本形 |
| まじから<br>(まじく)     | 未然形 |
| まじかり<br>まじく       | 連用形 |
| まじ                | 終止形 |
| まじかる<br>まじき       | 連体形 |
| まじけれ              | 已然形 |
| ○                 | 命令形 |
| 終止形<br>(ラ変型には連体形) | 接続  |

2 1 三  
 打消推量  
 打消意志

2 1 四  
 連用形  
 連用形

1 五  
 まじから

1 六  
 才